



Subaru

男声合唱団 ニュース№573

16. 8. 22

多彩な合唱交流！昴「白樺」「わしらの朝は・」 を熱唱！大阪市内南部合唱発表会で

8月21日

□ 8月21日(日)13:30より東成区民センター小ホールにて「2016年市内南部地域合唱発表会」が開催されました。日頃、厳しい条件の中、地域で、職域で、それぞれ奮闘・活躍されている17の合唱団やグループの方々が、猛暑の中早朝から集まりました。発表会は日頃の練習や発表の努力があらわれ、さまざまなジャンルの曲目がそれぞれの合唱団の個性豊かな表現で合唱され、会場は多彩な合唱交流の場となりました。「昴」は本並先生の指揮で、十八番の「白樺」と合唱発表曲としては本邦初演のアカペラ曲「わしらの朝は海からはじまる」の2曲を披露しました。ピアノは森二三さん。参加者は全33名（内ステージ外の団員応援2名）でした。



□指揮者・本並先生の「寸評」(発表後、広報部担当がインタビューの形で感想をうかがいました)

「まずはお疲れさま。「白樺」については、よく歌えている！評価したい。

「わしらの朝は」については、1回目(初演)としては「かなり歌えた」のではないか。しかし、音楽の基本のところ、一人一人の声・リズムがまず揃っていない。とくにアカペラの場合は声を揃えないと！音を揃えるとともに「わしらの海」に対する気分・気持ちが揃っていないと・・・まだバラバラ！何とか付いて行ってる場所かな？

この曲自体はかなり難しく歌う方も大変でしょう！「過酷」といえる。「きついなあ・・・」が率直なところですよ。始まったところですよ。頑張ってください！これからですよ！」



20名の混声合唱・関西紫金草合唱団

□特記事項

①本並先生指揮の「関西紫金草合唱団」が推薦され、講評委員長から「紫金草合唱団」が若返って声の質が素晴らしくなった！との評価を得ました。

若いメンバーの参加によって「合唱の質」自体が良くなることで合唱の表現力が豊かになることの良い例です。「他の合唱団も若い団員を入れましょう！」との講評がありました。

②本並先生指揮の「ロシア民謡合唱団・コスモス」が2年ぶりに推薦されました。今回は4部各パートの構成もよくまとまり、ロシア民謡の特徴をしっかりと捉えて、聴く人々に感動を与えたのでは・・・「推薦」は団員にも励みになりました。19名の混声合唱・コスモス



③特筆すべきこととして、親子で合唱活動をしている「いちごハウス」です。小学生の6人(女子)と6人のお母さん、指揮者はお父さん？ 曲目も「Forever」「広い世界へ」と本格的です。「輝く明日を信じて・・・」「広い世界へ出ていこう！心をつないで、手をつないで・・・」と舞台上で堂々と歌っている子供たちを見て、「日本のうたごえも将来明るいぞ！」と心強く感じました。



12名で歌う「いちごハウス」の親子合唱団

④今回の発表団体の中にはいくつもの優れた少人数編成の合唱グループがありました。「おじょーず」(女声6名)、「あーら」(女声4・男声2)、「ぶかぶか」(女声3・男声3、ギター2)、「ジューブシカ」(女声3) 日頃の歌への真剣な努力・練習の成果が聴衆に感動を与えました。

大阪市内南部地域合唱発表コンクール結果

○シード 男声合唱団 昂 衛都連合唱団

○合唱の部推薦

いちごハウス

新婦人中央支部うたごえサークルルンルン

関西紫金草合唱団

ウイングス

大阪府庁うたごえ合唱団

ロシア民謡合唱団コスモス

グリーンコーラス

○交流の部推薦 スマイルエコー